



令和2年度 保護者・生徒・地域の皆さんへ

長野高等学校 学校長だより

(「学校長だより」はホームページにも掲載しています。)

令和2年
No 2

6月1日(月)

休校期間の各家庭でのご対応、ありがとうございました。

新年度が始まって5日間の登校後、4月10日(金)からの長い休校となり、休校当初は学校の桜が満開でしたが、今では新緑が映える季節になってしまいました。途中3回にわたる休校の延長やオンライン授業の展開等について、余裕をもった連絡ができなかったりする中、ご協力いただきましたことに、感謝・御礼申し上げます。6月2日(火)より、ほぼ通常通りの学校生活を始めていきますが、感染症に対する様々な対策を取りながら学校生活を進めていきます。つきましては、5月28日付通知「6月1日(月)以降の授業再開について」及び6月1日付通知「新型コロナウイルス感染症対策について」(生徒配布、HPに掲載)をご覧ください、ご家庭と協力しながら教育活動を再開させて行きたいと思っております。

感染対策の他にも、考えることがたくさんある。

今回の感染症パンデミックに直面した世界の中で、既存の社会体制や価値基準等が、いとも簡単に崩壊していく様を目撃し、物事の見方において相対化する重要性を再認識したのは私だけではないはずです。例えば、人類が長い年月を経て獲得してきた民主主義や自由・平等という価値と人類の生存という価値とのぶつかりあい、この状況に人類はどう対処すべきなのか、誰も答えを持っていません。もっと身近な例では、生徒の皆さんも先生方も行動が制限され、家庭待機等の状況で、「家族とは」「命とは」「学校とは」「学ぶという事は」「教えるという事は」等々、考えることがたくさんある(あった)ように感じます。コロナ禍をまさに経験している私たち(生徒の皆さんや先生方)は、この経験から新たな「コロナ後」の社会に向けて、どう変わるのか、あるいは変わらないのか、考えることが大切だと思います。

休校期間中に実施したオンライン授業について

5月27日(水)の長野県教育委員会定例会で、高校の休校中のオンライン授業例として、本校(長野高校)の実践例が報告されました。定例会での報告内容(A4版1枚)を裏面に紹介しておきます(県教委のホームページにも掲載されています)。さて、オンライン授業について以下のように考えます。

- オンライン授業を「同期型(Google meet、zoom等)」「(Live)」と「非同期型(動画・課題配信)」「(On Demand)」に分類する考え方に則れば、長野高校では「非同期型」の実施をまずは急ぎました。理由は、せつかく家庭において生徒個々で学習するのであれば、そこで実現できる個別最適化(ひとり一人に合った学びを最適にしていくこと)を図ることが重要だと考えたこと、全生徒に全教科・全科目の授業・学習を提供する方法として「非同期型」はすぐに取り組める手法であること等です。
- コロナ対応が一段落したとしても「オンライン授業」の活用・研究を進めていくことを考えています。
- 生徒・先生方にとって「学び方改革」「教え方改革」になった面があり、オンライン授業について、その受け取り(生徒側)と発信側(教員側)に「まとめ(総括)」をしておく必要があると考えます。
- コロナ禍の第2波、3波に備えて、オンライン授業のさらなる強化を図るために、ご家庭や学校ともども、環境整備も図る必要があります。学校としては、例えば一つとして「同期型」のオンライン授業の研究を進めていく必要があると考えます。



高校における ICT 活用事例（長野県長野高等学校）

1 できる人から試験的な取組（3月～4月24日）

(1) YouTube の活用

3月の終業式等における校長講話の Web 配信。また、4月8日（水）から2年生「英語キャリアプロジェクトⅡ」の授業の導入として、英語科以外を含めた複数の教員が1分間英語で話す動画を模範として配信。それを受けて生徒は英語によるスピーチにチャレンジ。

(2) Gmail の活用

4月13日（月）から全校一斉メール配信（Gmail）を活用した健康チェックを実施。あわせて、Googleドライブを活用した動画配信、学年・教科からの学習に関する連絡、オンラインによるコンテンツ等の配信を行った。（資料1）

（資料1）

4月22日（水） 始業確認と本日のお知らせ。
 長野高校生のみなさん、おはようございます。
 (1) 始業確認はこちらから！(返信を持って、学習活動のスタートを確認します)。
<https://drive.google.com/00000...0000>
 (2) 本日のお知らせ。
 ①<校長より>。
 ・「Let's go! 探究長野高校」(対象1年) ④「佐久間象山像」編(動画3分)。
<https://youtu.be/00...00>

(3) Google classroom の開設

4月20日（月）から24日（金）の1週間を準備期間とし、全教科・科目についてオンライン授業を生徒が受講できるように、全職員が講座別の「Google classroom」を開設。

2 全校での本格的な取組（4月27日～）

(1) Google classroom の運用

4月27日（月）から教科書に沿った学習を開始。扱った内容は再開後の授業で基本的に扱わなくてよいように指導。生徒は自分の履修教科・科目をすべてオンラインで登録。

（資料2）

教員はすべての教科・科目で授業の解説動画や課題等を配信。また、Google フォームによる確認小テストを実施。

(2) Google Meet (Web 会議システム) の活用

①教科横断型授業の実践

青年海外協力隊の看護師に依頼し、「ザンビアの栄養と健康」についてオンライン講義を実施。地歴科と総合的な探究の時間の連携による企画。希望生徒約50人が参加。（5月1日）

②総合的な探究の時間での活用

SDGs 地方創生国際会議 in Nagano を開催。県内外7校より高校生10名、国内外6大学より大学生6名、海外の社会人等20名が参加し、オンラインでつながる会議を実施。（5月23日）

（資料2）

	1年	2年	3年
国語	1年現代文 1年古典	2年現代文 2年古典	3年現代文 3年古典 3年文系国語
地歴・公民	1年世界史A現代社会	2年世界史 2年日本史(松本講座(JK2)) 2年日本史B(鳥田) 2年地理授業	3年日本史B 3年地理授業 3年倫理 3年政治経済 3年世界史B
数学	1年数学	2年数学理系(PQRS) 2年数学文系(IJK)	3年数学文系 3年数学理系 数学ⅠⅡA B 3年数学理系 数学Ⅲ
理科	生物基礎 化学基礎	理系物理 理系化学 理系生物 物理基礎 地学基礎	理系物理 理系化学 理系生物 文系生物基礎 化学基礎 地学基礎
英語	1年英語	2年英語	3年英語
	1年 音楽Ⅰ	2年 音楽Ⅰ	3年 音楽Ⅱ

3 オンライン学習の感想

- ・オンライン授業は、自分のペースで取り組め、いつもより丁寧に予習・復習ができるので、定着しているなど感じます。
- ・断熱圧縮の実験で、発火の瞬間に想像以上に光輝いたので驚きました。やはり実験は面白いと思いました。また、アニメーションで変化のイメージを掴むことができました。
- ・まだオンラインで自分の意見を発信するには抵抗がありますが、いろいろな人の意見を気軽に聞けて、なおかついい刺激になりました。